

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省力化技術

食品ロス削減

国産、地場産の供給拡大

その他

えか自然農場（千葉県流山市）



【生産概要】（令和4年産）
露地野菜等 年間60品目、農場面積4ha

【経営概要】

- ・農場開設：2003年3月（流山市の農場開設時期）
- ・農業従事者数：61名（うち障がい者スタッフ 約50名）
- ・取得している認証（認証機関）：有機JAS（（株）アファス認証センター）、JGAP（（一社）日本能率協会審査登録センター）

■ 有機農業に取り組むきっかけ

20年程前にサラリーマンであった頃、「飲料水の有料化（ペットボトルによる販売）」という新聞記事を読んだことがきっかけとなり水に関心を持ちました。水道水や地下水が農業やゴルフ場で使う農薬により汚染されている可能性があることを知り、何かできることはないかと考え、環境を保全し、水の汚染を低減することができる有機農業に行き着きました。

■ 農福連携に取り組むきっかけ

15年位前、当時の厚生労働省障害福祉課の課長に農林水産省へ連れて行ってもらった時に農福連携を知り、農業で障がい者の労働力を活用する考えが面白いと思い、柏市にある特別支援学校に募集を行ったのが始まりです。

■ 苦労している点

- ・農地がもっとあればゆとりを持って野菜栽培ができるのですが、限られた農地で年60種類の作物を作るため土を休ませることができず連作になっている場合があります。
- ・販売店には常に10種類位の作物を安定的に納品・陳列するため、一年中安定的に作物を育てる必要があります。販路は直売のため、収穫時期になったものを一度に収穫すると捌ききれないため、少しずつ収穫する必要があり効率が悪い面もあります。
- ・堆肥作りで必要な米糠が手に入り難くなっています。

■ 今後取り組みたいこと

- ・生ゴミの堆肥化です。産業廃棄物になっているものも発酵させたら肥料になるので、その循環を作りたいと考えています。
- ・6次産業化や有機栽培での水稻にも取り組みたいです。
- ・野菜の鮮度を如何にして保つか、経費のかからないやり方も研究しています。

事務所所在地：千葉県流山市西深井352-2

電話番号：04-7197-2233

HPアドレス：<https://www.ecafarm.jp/>

